

FD・IR 企画部会 2024 年度目標および主要計画

FD・IR 企画部会委員長 小林 正樹
大学企画室長 小山内幸広
教務学生課長 目黒 裕二

1. 2023 年度までに示された主な課題・指摘事項等

- ・学修ポートフォリオの定着化
- ・IR データベースの活用推進および学修成果の分析
- ・調査負担の軽減

2. 2024 年度の目標および主要計画

(1) FD (Faculty Development) 関係

目標	① 学修ポートフォリオの試行実施と定着化 ② 新授業評価アンケートの試行実施と検証 ③ FD 活動活性化策の検討および実施
計画	① キャリアデザインの授業中に、学修ポートフォリオの使用法説明・入力操作を行うとともに、14 週にわたって継続的に使用し、学生の認知度向上を図り、その活用状況を確認する。 ② 授業の中間時に授業改善を主とするアンケート、期末に自身の振り返りを主とするアンケートを実施し、授業評価アンケート改定前後の比較検証を行う。 ③ 定例イベント以外の FD 活動活性化策（例：学生 FD 懇談会 2 回開催・教職員 FD ワークショップ開催など）を検討し、年度内に一つ以上の企画を実施する。

(2) IR (Institutional Research) 関係

目標	① IR データベースの活用推進策の検討および実施 ② IR データベースを活用した学修成果分析レポートの作成および報告【継続】 ③ 各種アンケート調査の統合・合理化（調査負担軽減）案の検討および実施【継続】
計画	① 昨年度構築した IR データベースと BI ツールの使用環境を、FDIR 企画部会メンバーおよび他の部局まで拡大し、希望者に対して操作方法研修を行う。各部局での可視化事例等を FSD 研修会で発表する機会を設け、学内での IR データ活用意識の向上を図る。 ② FDIR 企画部会での意見交換を踏まえながら、IR データベースを最大限活用した学修成果分析レポート作成し、代議員幹事会や FSD 研修会等で分析結果を報告する。 ③ 学内アンケート調査（時期・対象・方法・設問等）を整理した上で、現行よりも学生負担軽減を図り、かつ実質的回答が得られる調査方法・設問等を検討し、実行する。

(3) 内部質保証

目標	① 学位プログラムレベルのアセスメント（専門学士力 MR 到達度測定・評価）の試行【継続】 ② 新アセスメントに対応した「学生便覧」の作成（教務委員会との協働） ③ 現行カリキュラムの教育成果の可視化と AEGG ポリシーに照らした各種検証
計画	① 専門学士力アセスメント試行案を実施し、各学科試行結果を FSD 研修会で共有し、本格実施に向けた課題の解決や改善策（次回試行実施案）の検討を行う。 ② 2025 年度入学生用の「学生便覧」について、新アセスメントに対応した記載内容（専門学士力・MR・アセスメント方法の説明、履修フロー、カリキュラムマップ、科目レベルの MR 等）を、教務委員会との協働で検討し、作成する。 ③ 現行カリキュラムの教育成果について、アセスメントポリシーを踏まえて具体的な可視化方法案を検討し、検証を行う。